



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オガワビル 新築工事	階数	地上4階 地下1階
建設地	札幌市中央区大通西27丁目183番152、183番155	構造	S造
建物用途	飲食店,集会所,	平均居住人員	0人
竣工年	2023年5月 予定	年間使用時間	5,500 時間/年(想定値)
敷地面積	1,072 m ²	評価の段階	実施設計段階評価
建築面積	750 m ²	評価の実施日	2023年1月27日
延床面積	2,034 m ²	作成者	
		確認日	
		確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★☆☆☆ **B-**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

*SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm] **0.85**

ZEB/ZEH-Mランク **非該当**

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5

3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>周囲の建物と調和するよう落ち着いた色合いの建物とした。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>・建築物エネルギー消費性能基準に適合している。</p>	<p>D 雪処理</p> <p>・敷地内車路をロードヒーティングとして冬季間の除排雪の軽減に努めている。</p>
<p>B 省資源等</p> <p>・LCCO₂排出率が91%となっている。</p>	<p>C 緑化</p> <p>・沿道の緑を意識して道路境界に植栽を多く設けている。</p>	

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(一財)住宅・建築SDGs推進センターのCASBEE認証	-	BELS認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用	-	LEED認証	-

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■環境品質Q = 25 × (Qのスコア - 1)、環境負荷L = 25 × (5 - LRのスコア)より算出

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル								
1.2 遮音								
1	開口部遮音性能		-	1.0	0.97		-	
2	界壁遮音性能		-	3.0	0.03		-	
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		-		-		-	
4	界床遮音性能(重量衝撃源)		-		-		-	
1.3 吸音								
1.0								
0.20								
-								
-								
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1	室温		-	3.0	0.38		-	
2	外皮性能	省エネ	-	3.0	0.24		-	
3	ゾーン別制御性		-	3.0	0.37		-	
2.2 湿度制御								
1.0								
0.20								
2.3 空調方式								
3.0								
0.30								
-								
-								
3 光・視環境								
3.1 屋光利用								
1	屋光率		-	-	-		-	
2	方位別開口		-		-		-	
3	屋光利用設備	省エネ	-	3.0	1.00		-	
3.2 グレア対策								
1	屋光制御	省エネ	-		-		-	
3.3 照度								
-								
-								
3.4 照明制御								
-								
-								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1	化学汚染物質		-	3.0	1.00		-	
4.2 換気								
1.0								
0.30								
1	換気量		-	1.0	0.50		-	
2	自然換気性能		-	-	-		-	
3	取り入れ外気への配慮		-	1.0	0.50		-	

4.3 運用管理				3.0	0.20		-	
1	CO ₂ の監視		-	-	-		-	
2	喫煙の制御		-	3.0	1.00		-	
Q2 サービス性能					0.30	-	-	2.8
1 機能性				3.0	0.40		-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-	
1	広さ・収納性		-		-		-	
2	高度情報通信設備対応		-		-		-	
3	バリアフリー計画		-	3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30		-	
1	広さ感・景観		-	3.0	0.03		-	
2	リフレッシュスペース		-		-		-	
3	内装計画		-	3.0	0.97	1.0	-	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計		-	3.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		-	3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30		-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		-	3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		-	3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.9	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		-	3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	-	2.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	11年以上～20年未満	4.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	主要な用途上位3種の、2種類以上にC以上を使用	4.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	-	2.0	0.20		-	
2.4 信頼性				2.2	0.20		-	
1	空調・換気設備		-	3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		-	2.0	0.20		-	
3	電気設備		-	3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		-	1.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		-	2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				2.8	0.30		-	2.8
3.1 空間のゆとり				4.0	0.30		-	
1	階高のゆとり		3.9m以上	5.0	0.04		-	
2	空間の形状・自由さ		0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3	4.0	0.96		-	
3.2 荷重のゆとり			-	2.0	0.30		-	

3.3 設備の更新性					2.6	0.40		-	
1	空調配管の更新性		-		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		-		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		-		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		-		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		-		1.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		-		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	1.7
1	生物環境の保全と創出	緑化	-		1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	緑化	-		2.0	0.40		-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30		-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	-		2.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	-		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性									2.5
LR1 エネルギー					-	0.40		-	2.7
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	BPI= 0.85 品確法=	-	4.5	0.20		-	4.5
2	自然エネルギー利用	省エネ	-		3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	省エネ	BEI= 0.85	-	2.7	0.50		-	2.7
4	効率的運用				1.0	0.20		-	1.0
	集合住宅以外の評価				1.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング	省エネ	-		-	-		-	
	4.2 運用管理体制	省エネ	-		1.0	1.00		-	
	集合住宅の評価							-	
	4.1 モニタリング	省エネ	-			-		-	
	4.2 運用管理体制	省エネ	-			-		-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30		-	2.3
1	水資源保護				2.2	0.20		-	2.2
	1.1 節水		-		1.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		-		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		-		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60		-	2.4
	2.1 材料使用量の削減	省資源	-		2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源	-		3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-		3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-		1.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源	-		2.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	-		3.0	0.20		-	

3 汚染物質含有材料の使用回避				2.3	0.20		-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			-	3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				2.0	0.70		-	
1	消火剤	省資源	-	-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	-	1.0	0.50		-	
3	冷媒	省資源	-	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	2.5
1 地球温暖化への配慮		省資源	-	3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮				1.9	0.33		-	1.9
2.1 大気汚染防止		省資源	-	1.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 緑化 雪処理	-	2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	-	3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		-	2.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	-	3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				-	-		-	
1	騒音		-	-	-		-	
2	振動		-	-	-		-	
3	悪臭		-	-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.67		-	
1	風害の抑制		-	3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		-		-		-	
3	日照阻害の抑制		-	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				1.6	0.33		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	1.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30		-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

1 建物概要

建物名称	(仮称)オガワビル 新築工事	BEE	0.6	BEEランク	Bー
建物用途	飲食店,集会所,				
延床面積	2,033.6 m ²				

2 重点項目への取り組み

レーダーチャート

地球 温暖化 対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>雪処理</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★☆☆☆	
	雪処理	★★★★☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー (最高点 25.8 最低点 7.9)		合計		14.6点 / 25.8点	
Q1 温熱環境	スコア 0.6 / 0.8	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 3.6 / 4.0		
Q1 光・視環境	スコア 3.0 / 5.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.2 / 2.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 5.4 / 10.0		
		LR1 効率的運用	スコア 0.8 / 4.0		
B 省資源等 (最高点 23.7 最低点 7.7)		合計		11.5点 / 23.7点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.6 / 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 4.3 / 9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 / 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 0.8 / 1.9		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.3 / 5.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 1.6 / 4.4		
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計		5.2点 / 15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 0.9 / 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 / 2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 2.4 / 6.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 / 2.3				
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計		1.0点 / 3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0 / 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 / 2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数